

平成22年

みんなのでつくる顔の見えるまち

# 若葉台

まちづくりグランドデザイン

「互いの顔が見える」まちづくりを目指します。

「自然と調和した」まちづくりを目指します。

「高齢者にやさしい」まちづくりを目指します。

「災害・犯罪につよい」まちづくりを目指します。

「快適・便利・住みよい」まちづくりを目指します。

まちづくり WAKABADAI

「若葉台地区まちづくり協議会」

# 若葉台まちづくりランドデザイン

## 目次

1. はじめに	1
1.1 グランドデザインについて	
1.2 鳥取市と若葉台地区の将来	
2. 若葉台地区の現況把握	2
3. まちづくりテーマ	7
4. まちづくり基本計画	8

## 1. はじめに

若葉台地区自治会は平成20年度に鳥取市が進める「協働のまちづくり元年」に対応すべく、他地区に先駆けて平成20年4月7日に若葉台地区まちづくり協議会「まちづくり WAKABADAI」を設立し、爾来、地区内住民対象のまちづくりアンケート調査、鳥取市の協働のまちづくり支援事業による山林部の美化整備活動、災害時要援護者支援事業などを行ってまいりました。特に、まちづくりアンケート調査につきましては、1463名の地区住民の皆様のご協力を頂き、取りまとめることができました。結果につきましては、若葉台電子自治会ホームページ (<http://www.e-wakabadai.com/>) に詳細を掲載しておりますのでご参照いただければと存じます。

このたび、同アンケート結果をもとに、今後の若葉台地区の中長期的な視点に立ったまちづくりグランドデザインを策定することとしました。併せて、今後、若葉台まちづくり協議会「まちづくり WAKABADAI」の活動に対しましても、皆様の一層の周知とご協力を頂きますようお願い申し上げます。

### 1.1 グランドデザインについて

グランドデザインのグランド (GRAND) とは、「雄大な、主要な、総括的な」という意味であり、デザイン (DESIGN) とは、「構想、設計図、計画」を意味します。平成10年に国土庁がまとめた新しい全国総合開発計画が「21世紀の国土のグランドデザイン」と名づけられたことからこの言葉が使われるようになりました。つまり「グランドデザイン」とは、中長期的で総括的なまちの発展計画を示すものです。このたび私たちが定めようとする「若葉台まちづくりグランドデザイン」は、多くの方から出てきた意見や提案の集約であり、まちづくりに参加しようという一人ひとりの羅針盤です。

最も大事なことは、現在の若葉台が他の自治会に誇りうる長所、優れた点を有している一方で、どのような問題、課題を内在しているかを洗い出し、それに基づき、中長期的な視点で若葉台のまちづくり計画を策定することだろうと思います。町内のまちづくりアンケート結果に基づいて、若葉台まちづくりグランドデザインを提案するものですが、今後、単位町内会ならびに各種協議会からの意見や提案を頂き、適宜、見直しを行って修正がなされるべきものと思います。

### 1.2 鳥取市と若葉台地区の将来

我が国の人口推計によれば、平成67(2055)年に8,000万人～1億人弱の人口となり、高齢者が36.3～42.3%を占める超高齢社会を迎えると推定されています。

図1に示すように、鳥取市においても少子高齢化によって、今後25年の間に現在より2万人～2万5千人程度の人口減少が見込まれています。2015年を過ぎる当たりから

年平均で 1000 人程度の減少ペースとなり、高齢人口は全体の 30%超、ならびに 75 歳以上の人口の割合も現在より 10%程度増大すると予測されています。

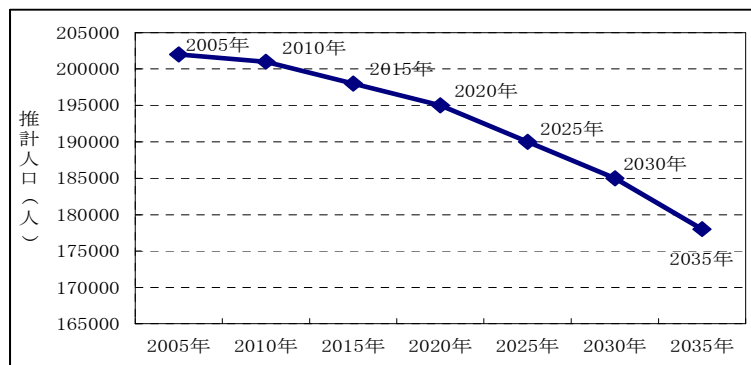


図1 今後25年間の鳥取市の総人口の推計

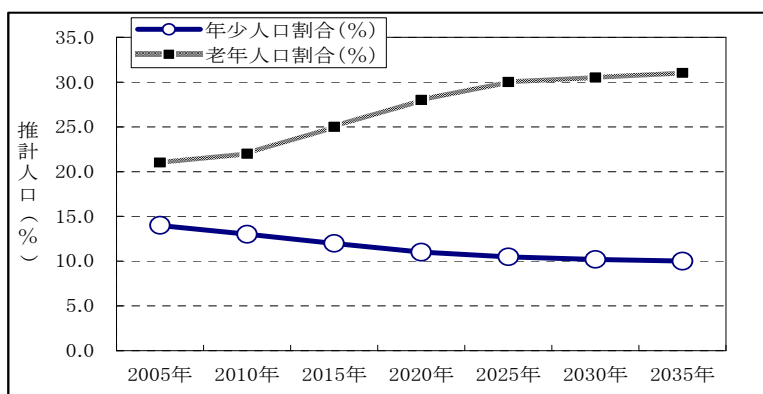


図2 鳥取市の年齢区分人口の推計

ニュータウンとして開発されてきた若葉台地区を考えると、鳥取市の推計値をそのまま若葉台に当てはめることは困難かと思われますが、すくなくとも鳥取市と類似した状況が進み人口の減少と今以上の高齢化が進むものと思われます。そうした状況を勘案して今後の若葉台地区のランドデザインを考える必要があります。

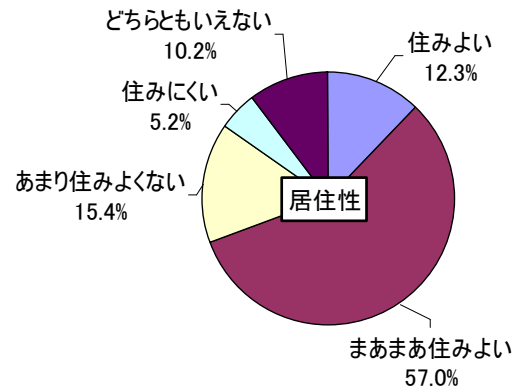
## 2. 若葉台地区の現況把握

若葉台地区住民アンケートで、地区の現状および、どのような課題や問題点が寄せられているかを概観しました。ここでは、「地区の住み良さ」、「残しておきたい若葉台の良さ」、「住み続けたくない理由」、「消防・防災体制について力を入れるべきこと」、「青少年の検算育成上、今後、重点的にやるべきこと」、「必要と考えられる道路、交通手段」、「高齢者施設において充実すべきこと」、および「今後、若葉台が目指す方向性について」のアンケート調査結果を示します。

若葉台の住み良さ

(単位:件、%)

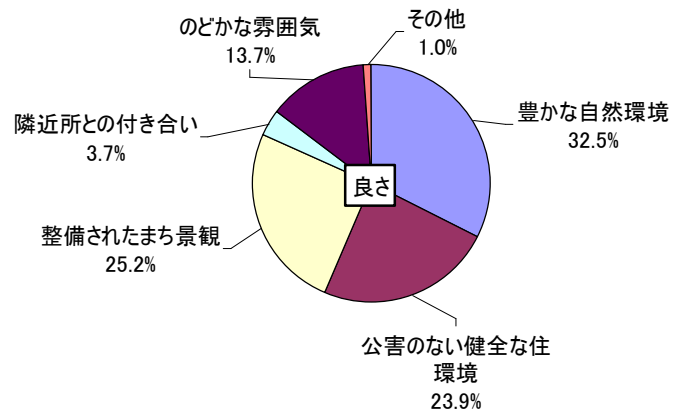
No.	選択肢	回答数	構成比
1	住みよい	177	12.3
2	まあまあ住みよい	819	57.0
3	あまり住みよくない	221	15.4
4	住みにくい	75	5.2
5	どちらともいえない	146	10.2
合計		1438	100.0



残しておきたい若葉台のよさ

(単位:件、%)

No.	選択肢	回答数	構成比
1	豊かな自然環境	456	32.5
2	公害のない健全な住環境	336	23.9
3	整備されたまち景観	354	25.2
4	隣近所との付き合い	52	3.7
5	のどかな雰囲気	192	13.7
6	その他	14	1.0
合計		1404	100.0



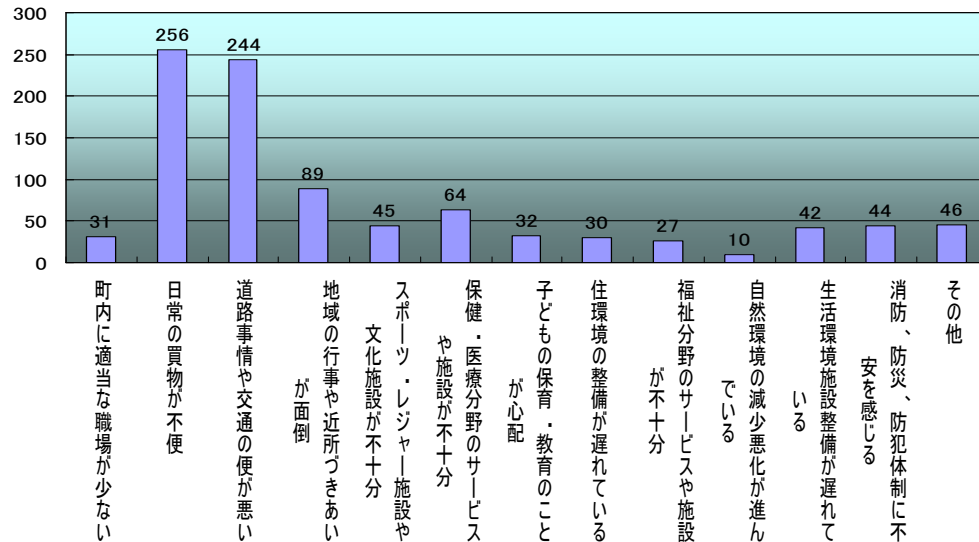
「若葉台に住み続けたいか」との問いに「どちらかというに住みたくない」「すぐに町外に転居したい」「わからない」と回答した理由

(単位:件、%)

No.	選択肢	回答数	構成比
1	町内に適当な職場が少ない	31	3.2
2	日常の買物が不便	256	26.7
3	道路事情や交通の便が悪い	244	25.4
4	地域の行事や近所づきあいが面倒	89	9.3
5	スポーツ・レジャー施設や文化施設が不十分	45	4.7
6	保健・医療分野のサービスや施設が不十分	64	6.7
7	子どもの保育・教育のことが心配	32	3.3
8	住環境の整備が遅れている	30	3.1
9	福祉分野のサービスや施設が不十分	27	2.8
10	自然環境の減少悪化が進んでいる	10	1.0
11	生活環境施設整備が遅れている	42	4.4
12	消防、防災、防犯体制に不安を感じる	44	4.6
13	その他	46	4.8
合計		960	100.0

※複数回答(当てはまるもの全て)

(件)

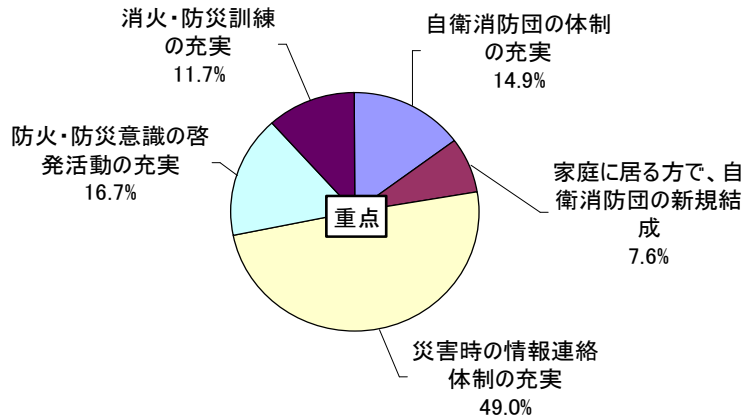


若葉台地区の消防・防災体制について、今後力を入れるべきこと

(単位:件、%)

No.	選択肢	回答数	構成比
1	自衛消防団の体制の充実	244	14.9
2	家庭に居る方で、自衛消防団の新規結成	125	7.6
3	災害時の情報連絡体制の充実	802	49.0
4	防火・防災意識の啓発活動の充実	274	16.7
5	消火・防災訓練の充実	191	11.7
合計		1636	100.0

※複数回答(当てはまるもの全て)

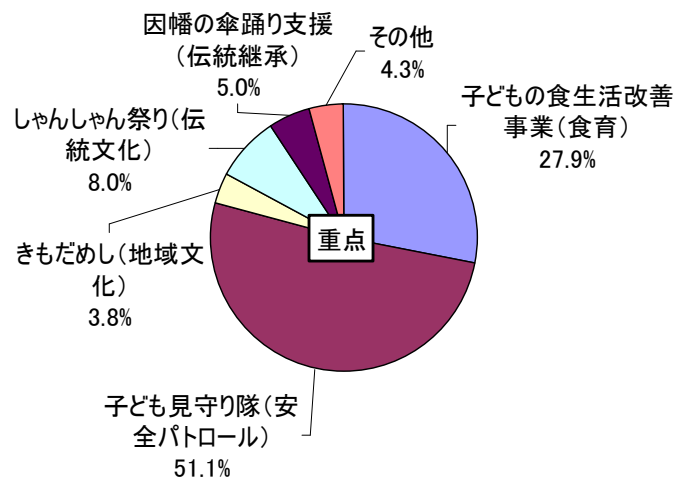


青少年の健全育成の上で今後重点的に行った方がよいと思う事業

(単位:件、%)

No.	選択肢	回答数	構成比
1	子どもの食生活改善事業(食育)	491	27.9
2	子ども見守り隊(安全パトロール)	898	51.1
3	きもだめし(地域文化)	66	3.8
4	しゃんしゃん祭り(伝統文化)	140	8.0
5	因幡の傘踊り支援(伝統継承)	87	5.0
6	その他	75	4.3
合計		1757	100.0

※複数回答(当てはまるもの全て)

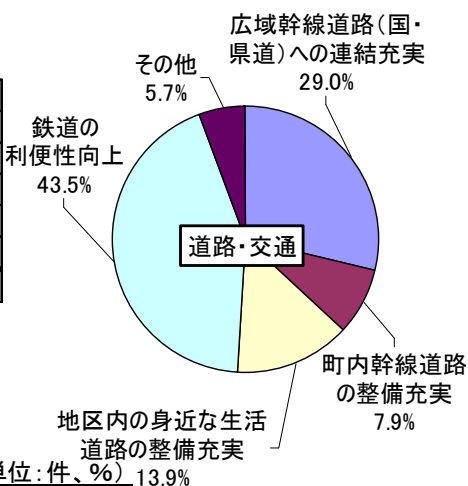


## 必要と考えられる道路・交通手段

(単位:件、%)

No.	選択肢	回答数	構成比
1	広域幹線道路(国・県道)への連結充実	476	29.0
2	町内幹線道路の整備充実	130	7.9
3	地区内の身近な生活道路の整備充実	228	13.9
4	鉄道の利便性向上	715	43.5
5	その他	93	5.7
合計		1642	100.0

※複数回答(2つまで)



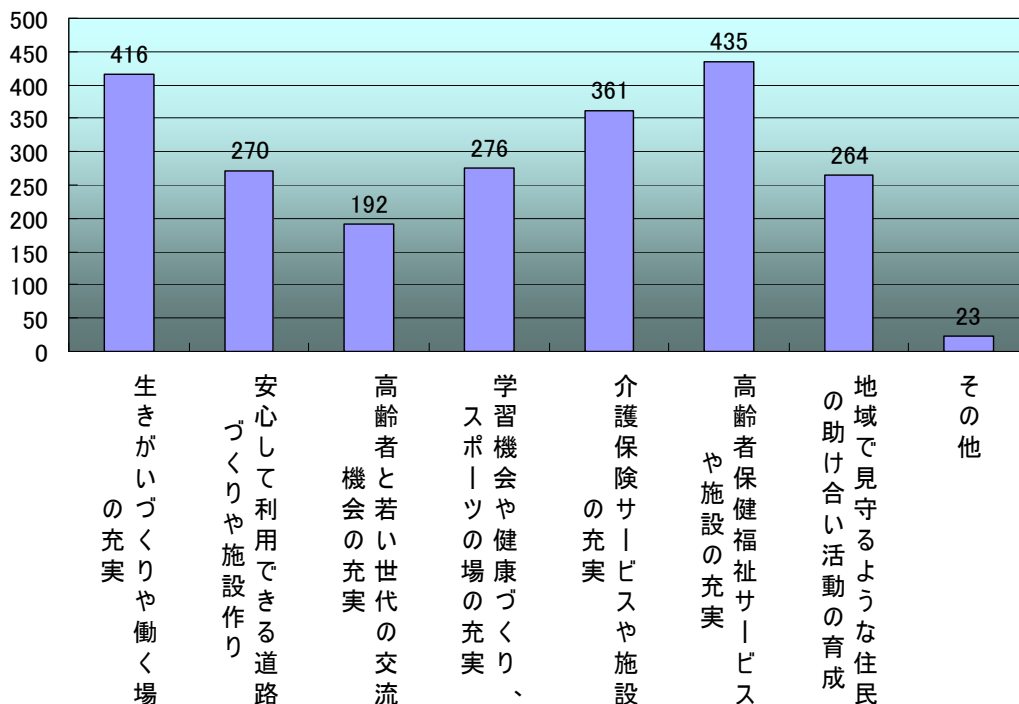
## 高齢者施策充実に向けて重点とすべきこと

(単位:件、%)

No.	選択肢	回答数	構成比
1	生きがいづくりや働く場の充実	416	18.6
2	安心して利用できる道路づくりや施設作り	270	12.1
3	高齢者と若い世代の交流機会の充実	192	8.6
4	学習機会や健康づくり、スポーツの場の充実	276	12.3
5	介護保険サービスや施設の充実	361	16.1
6	高齢者保健福祉サービスや施設の充実	435	19.4
7	地域で見守るような住民の助け合い活動の育成	264	11.8
8	その他	23	1.0
合計		2237	100.0

※複数回答(2つまで)

(件)



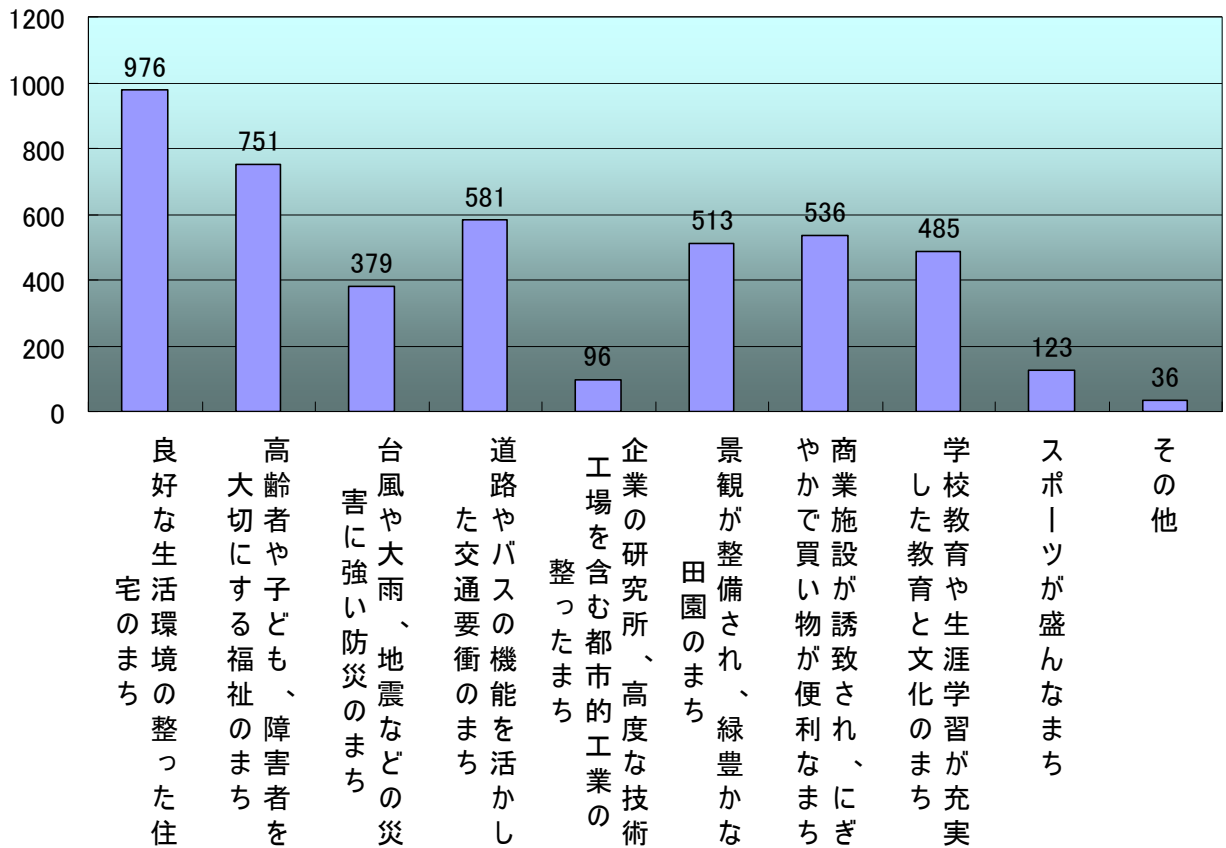
今後、若葉台が目指す方向性

(単位:件、%)

No.	選択肢	回答数	構成比
1	良好な生活環境の整った住宅のまち	976	21.8
2	高齢者や子ども、障害者を大切にする福祉のまち	751	16.8
3	台風や大雨、地震などの災害に強い防災のまち	379	8.5
4	道路やバスの機能を活かした交通要衝のまち	581	13.0
5	企業の研究所、高度な技術工場を含む都市的工業の整ったまち	96	2.1
6	景観が整備され、緑豊かな田園のまち	513	11.5
7	商業施設が誘致され、にぎやかで買い物が便利なまち	536	12.0
8	学校教育や生涯学習が充実した教育と文化のまち	485	10.8
9	スポーツが盛んなまち	123	2.7
10	その他	36	0.8
合計		4476	100.0

※複数回答(4つまで)

(件)





### 3. まちづくりテーマ

以上のまちづくりアンケート結果から、7割の住民の方が若葉台は「住みよい、まあまあ住みよい」町であること、また豊かな自然環境を残し、整備された景観を残して欲しいということが分かりました。防災面では災害時の情報連絡体制の整備、防災意識の啓発が必要であること、青少年育成の面では、子どもの安全パトロール(見守り隊)と食育が重要と考えられていること、道路、交通手段としては鉄道の利便性向上、広域幹線道路との連携充実、地区内の道路整備等が必要であるなど、様々な要望・意識が挙げられております。高齢者福祉問題に対しましては、保健福祉サービス充実と施設の整備、生きがいづくりや働く場の充実、介護保険サービス施設の充実などが挙がっております。一方、若葉台の問題点としては、日常の買い物が不便であること、道路事情や交通の便が悪いことも指摘されました。今後、若葉台の目指す方向性としては、良好な生活環境が整って町、高齢者、子ども、障害者を大切にする町であることが挙げられました。以上の結果にもとづいて、若葉台のまちづくりのコンセプト(全体テーマおよびサブテーマ)を以下のように策定します。

#### まちづくりメインテーマ

「みんなでつくる顔の見えるまち・若葉台」

#### まちづくり サブテーマ

1. 「互いの顔が見える」まちづくりを目指します。
2. 「自然と調和した」まちづくりを目指します。
3. 「高齢者にやさしい」まちづくりを目指します。
4. 「災害・犯罪につよい」まちづくりを目指します。
5. 「快適・便利・住みよい」まちづくりを目指します。

## 4. 若葉台地区まちづくり基本計画

平成21年度に取りまとめたまちづくりに関するアンケートの結果を踏まえて、中・長期的なまちづくりとしてまちづくりメインテーマ「みんなでつくる顔の見えるまち・若葉台」を定めましたが、各年度の短期的事業計画は、前出の5つのサブテーマを、中・長期的に解決または維持・強化することを念頭に置いて策定しております。その際どうしても必要になるのが今回行ったアンケートよりも更に具体的なニーズ調査となります。実施に向けて（短期計画策定に向けて）必要な住民ニーズの調査をそれぞれのテーマごとに行う必要があります。その調査と方法もまちづくり計画の一部となるものと考えます。以下に示す5つのサブテーマにしたがってまちづくりを行う基本計画としています。

中期目標	具体的課題	計画策定の方向性	中期計画
<p><b>生活環境の保全及び維持</b></p> <p>関連サブテーマ</p> <p>「災害・犯罪につよい」まちづくり</p> <p>「快適・便利・住み良い」まちづくり</p>	<p>1. 中高木等の成長に伴う維持管理</p> <p>2. 空地の有効利用</p> <p>3. 周辺山林の景観向上と有効利用</p> <p>4. 公園・緑地・水辺の整備</p> <p>5. ごみ収集等環境衛生対策の充実</p>	<p>1. 詳細調査実施⇒維持管理体制の策定（住民主体；行政との契約・連携）</p> <p>2. 行政への積極的提案</p> <p>3. 里山創生事業の継続</p> <p>4. 現状調査・把握⇒計画策定⇒行政と連携して住民主体の整備事業実施</p> <p>5. 現況調査⇒問題点の抽出⇒対策案の策定</p>	<p>1. H20実施の概略調査をもとに詳細調査を行う（H22～）⇒維持管理体制を策定する；自治会環境委員会</p> <p>2. 空地利用について住民の意見を募る（H22～）⇒行政への提案を行う；自治会</p> <p>3. H21実施の事業と人権推進協議会の事業「人権コミュニティ・スペース整備事業（H22計画）」や体育会の多目的広場事業をタイアップさせ継続実施をしていく（H22～）；自治会・人推協・体育会</p> <p>4. フィールド調査等で現状を把握する（H22～）⇒計画策定・行政との協議（⇒住民主体の整備事業実施（H24～））；まち協</p> <p>5. 各町内ごとに現況調査（H22～）⇒問題点の抽出⇒問題点の統合及び対策案の策定・行政との協議；自治会環境委員会</p>

<p><b>交通インフラ整備</b></p> <p>関連サブテーマ 「高齢者にやさしい」まちづくり</p> <p>「快適・便利・住みよい」まちづくり</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 地区外への道路の整備</li> <li>2. 地区外への公共交通機関の充実</li> <li>3. 地区内の交通インフラの充実</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 客観的現状把握⇒行政への要望継続</li> <li>2. 現況とニーズの明確化⇒関係諸機関との協議⇒必要な具体策の策定</li> <li>3. 詳細なニーズ調査⇒独自システムの考案⇒関係諸機関・行政との協議⇒実施体制の構築</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 状況把握のための行政との協議（H22～）⇒要望の継続；まち協</li> <li>2. 現況調査とニーズ調査（交通量や渋滞の調査、住民が要望するルートや時間を調査する）（H22～）⇒関係機関との協議⇒具体策の策定・実施；まち協</li> <li>3. ニーズ調査・地区内で困っていること等を詳細に聞きとる（H22～）⇒独自システムの考案（地域バス等）⇒関係機関との協議⇒具体策の策定・実施；まち協</li> </ol>
<p><b>高齢者・障害者等の生活環境整備</b></p> <p>関連サブテーマ 「互いの顔が見える」まちづくり</p> <p>「高齢者にやさしい」まちづくりを目指します。</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 高齢者・障害者福祉施設の整備</li> <li>2. 高齢者・障害者へのサービスの充実</li> <li>3. 医療体制の充実</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 現状の把握⇒ニーズ調査⇒施設設置へ向けて行政へ提案⇒住民主体の運営</li> <li>2. 現サービスの抽出⇒ニーズの調査⇒実施可能なサービスの策定⇒実施システムの構築</li> <li>3. 上記とリンクした調査の実施等</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 現況調査とニーズ調査（どのような施設が欲しいか、地区内にできたら利用するか等）（H22～）⇒関係機関との協議⇒具体策の策定・実施（企業・行政・地域タイアップの運営・経営等）；自治会・社会福祉協議会</li> <li>2. 現況調査とニーズ調査（どのようなサービスが欲しいか、利用するか等）（H22～）⇒具体的サービスの策定・実施；自治会・社会福祉協議会</li> <li>3. 福祉施設とリンクさせた調査・協議（H22～；自治会・社会福祉協議会</li> </ol>

<p><b>防災・防犯体制の整備及び強化</b></p> <p><b>関連サブテーマ</b>  「災害・犯罪につよい」まちづくり  「快適・便利・住み良い」まちづくり</p>	<p>1. 火災時の消防体制の不備</p> <p>2. 災害時の情報連絡体制の不備</p> <p>3. 防犯対策の不備</p>	<p>1. 各町内ごとの体制の調査⇒体制の見直し⇒一元化⇒訓練の実施</p> <p>2. 防災無線設置後の使用システムの構築⇒住民への徹底⇒独自使用訓練の実施</p> <p>3. 警察との協議⇒防犯カテゴリーの仕分け⇒カテゴリーごとの計画策定及び現計画の見直し</p>	<p>1. 消防体制の調査（各町内会毎）⇒体制の統合・一元化⇒各町内会での訓練の実施（H22～）；自主防災連絡協議会</p> <p>2. 防災無線使用についての行政との協議（H22～）⇒住民への広報⇒使用方法の構築・訓練の実施；自主防災連絡協議会</p> <p>3. 防犯についての勉強会と警察との協議・防犯の種類仕分け（H22～）⇒防犯計画の策定⇒実施；まち協</p>
<p><b>地域コミュニティの充実</b></p> <p><b>関連サブテーマ</b>  「互いの顔が見える」まちづくり  「高齢者にやさしい」まちづくり  「快適・便利・住み良い」まちづくり</p>	<p>1. 住民相互の交流が行われている地域社会の育成</p>	<p>1. 詳細なニーズ調査の実施⇒交流方法の検討⇒実施システムの策定</p>	<p>1. 住民交流の方法の要望・希望を住民に問う（H22～）⇒交流方法を検討し実施計画を作る⇒実施；まち協</p>